

平田ロータリークラブ 週報 ~ No.2156 (令和 元年 9月12日)



2019-2020 年度

国際ロータリー会長 / マーク・ダニエル・マローニー 会長 / 持田 稔樹 副会長 / 釜屋 治男
2690地区ガバナー / 古瀬 俱之 幹事 / 杉原 朋之 会計 / 板垣 文江

■平田ロータリークラブ 事務局

〒691-0001 島根県出雲市平田町 2280-1 平田商工会議所 2F
TEL : 0853-63-3232 / FAX : 63-5365

URL : <http://hirata-rotary.jp/> Mail : office@hirata-rotary.jp

9:00 ~ 17:00 (土・日曜・祝日 休局)

■例会プログラム

例会日	卓話者	演題
9月12日	田中 久雄 様	平田小学校4年生の時を振り返って
9月19日	休 会	
9月26日	平田行政センター 所長 山根 秀 様	平田行政センターと 平田コミセンの複合施設 建設計画について
10月3日	ガバナー補佐 佐々木 哲也 様	

■出席報告

会員数	出席者数	欠席者数	出席率
42	30	12 (6)	83.33 %

■欠席者

田中/石原俊/三好/原伸/清原/園山
(山根/牧野/遠藤/河原/高砂/伊藤)

■来訪者

なし

■メイクアップ

9/11 大島卓

■次回例会受付当番

(9月26日) 土江光二/恒松克己/内田節夫
(10月3日) 大島淳司/遠藤 栄/河原治子

■近隣クラブ例会情報 (メイクアップを考えましょう)

月	出雲中央	9/30	10/21	松江南	10/21
火	出雲	9/17・10/22(-)	11/19	松江しんじ湖	9/24 10/15 10/29
水	大社	9/18 9/25 10/23 10/30 10/2・16(-)		松江	9/25 10/23
木		(-) ; ビジター受付 なし		松江東	9/26・10/24(-)
金	出雲南	9/13 9/27(-)			

■会長挨拶

「中秋の名月」とは、太陰太陽暦の8月15日の夜に見える月のことを指します。今年は9月13日が中秋の名月、翌日14日が満月と、中秋の名月と満月の日付が1日ずれています。また中秋の名月の翌日、9月14日は、満月が今年最も小さく見える日です。今年の中秋の名月は、比較的遠くて小さい月ということになるわけですが、大きさや明るさの違いは、眺めていてもなかなかわかりません。同じ条件で写真に撮るとやっとわかる程度です。中秋の名月を見て「お月見」する由来は諸説ありますが、主に2つの説が挙げられます。

一つ目は、稲の豊作を祈る宴を行ったことが始まりとされる説です。旧暦の8月になると、夏の農作業が一段落し、しばらくすると稲刈りが始まります。稲刈りまでの間少し手が空くこの時期に、稲の豊作を祈って宴を行ったと言われていいます。

二つ目は、中国から伝えられたという説です。昔から中国では、中秋節と呼ばれる風習がありました。旧暦の8月15日に月餅や瓜などをお供えて、月を眺めて楽しむというものです。その風習が、日本に平安時代に伝えられて広がったとされています。中国から中秋節の風習が伝わると、貴族が水面に映る月を眺めて宴を楽しむようになったようです。日本で最初に行われたお月見は、909年(延喜9年)に醍醐天皇が開いた月見の宴という記録が残っています。

現在の住宅の温熱計算上では「月」は全く考慮をしません。必要なのは「太陽」の方です。特に太陽高度が室内環境に影響を及ぼします。夏は庇で太陽光を遮り、冬は家の奥まで太陽光を取り入れる計算をします。ちなみに夏、1階の庇は1.2m以上出せば、床板に太陽光が当たらなくなりますので、夏の室内の温室効果は抑えられ、電気代が少なくなります。

■委員会報告

情報・雑誌委員会 : ロータリーの友 9月号の紹介

■スマイル

田中久雄様よりスマイルを頂きました。

- 持田稔 (田中様本日はスピーチ宜しくお願ひします。)
- 杉原 (田中久雄先輩、本日のスピーチよろしくお願ひします。)
- 釜屋・久家 (田中久雄様、本日のスピーチよろしくお願ひします。)
- 佐々木 (田中久雄様、本日はありがとうございます。スピーチ楽しみにしています。)
- 小汀 (田中久雄様、お久しぶりです。ようこそおでかけ下さいました。お話し楽しみにしています。)
- 恒松 (田中久雄様、ようこそいらっしゃいました。大変嬉しく思います。スピーチ楽しみにしています。ロータリーの友英語版をお読みになっていました。)
- 石原輝 (平田の語りべ 田中様のスピーチ楽しみにしております。)
- 内田 (田中様、本日は大変ありがとうございます。久しぶりに田中節をうってください。)
- 大谷厚 (折角の田中久雄様のスピーチ恐縮ですが、本日所用のため早させて頂きます。)
- 來間 (田中久雄さん本日もスピーチよろしくお願ひします。所用で早退いたします。また、お話しお聞かせ下さいませ。)
- 板垣 (田中さんお世話になりました。今日のお話 楽しみにしております。)

平田小学校 4 年生の時を振り返って

私が学んだ平田小学校 6 年間の思い出として最も印象が深いのは、4 年生の時で 3 年 9 ヶ月続いた太平洋戦争が終わった、昭和 20 年 (1945 年) 8 月 15 日の学年だった。

今の平田郵便局の位置に校門があり、右側には雨森清翁の銅像があって脱帽して下駄箱に、冬はわら草履、夏は素足で通った。職員室の前の廊下にはアメリカ人の絵が描いてあって必ず踏んで教室に入り、いわば踏み絵である。一時間目の初の朝礼には、教室の向かって右側に黒塗りの板に明治天皇の御製が、白墨を水に溶かした液体で大書してあり大声で読み上げた。「目に見えぬ神のこえにかようこそ人の心の誠なりけり」が印象深い。

昼食はアルマイトの弁当箱で新聞や風呂敷に包んで持参したが、家庭の都合で持参できないものは家に帰って再度登校した。運動会は竹の骨でわらで作った人形を竹やりで突いて倒すリレーで、人形は敵国の兵隊を模したものであった。駆逐米英・一億火の玉・贅沢は敵だ・戦地の日本の兵隊さんを思えなど、常に叱咤激励をされた。

忘れえぬ昭和 20 年 7 月 28 日正午ごろ、アメリカの戦闘機コルセア 7 機が出西の飛行場で、双発の爆撃「銀河」を機銃掃射したが被害は不明。そのうち一機が、通称「なめら川」(今の平田小学校北側の川)に機銃掃射して西側に飛び去った。平田に敵機襲来は初めてであったが、迎え撃つ日本の飛行機はなかった。8 月 6 日に広島・8 月 9 日に長崎に原子爆弾が投下された。

8 月 15 日の朝に平田小学校上級生 (4・5・6 年) は平田の駅へ戦地に向かう兵隊さんを見送った。学校に戻ると教頭先生から今日の 12 時から重大なラジオ放送があるので聞くようにとのこと。それは終戦のことば、生き神様と教わった天皇陛下のお声であった。3 年 9 ヶ月におよんだ太平洋戦争は終わり日本は敗れた。310 万人の尊い命が失われた戦いであったが、戦争は勝っても負けても失うばかりで得するものはない。

今の世界の安全安心の街は、1 位が東京・2 位がシンガポール・3 位が大阪である。これはひとえに日本の教育レベルの高さが証明している。

ロータリーは永遠であると思う。

